
Summer企画 『Winter -ある大学生の冬-』

空牙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Summer企画 『Winter -ある大学生の冬-』

【コード】

N5600N

【作者名】

空牙

【あらすじ】

あの夏はもう過去、彼らは幸せに暮らしましたとさ。

奏は寒そうに体を震えさせている。
年も暮れようとしている頃だ。あんな服装じゃ寒いだろう。

俺は奏に自分の上着をかけてやる。

「えへへ、ありがと。」

そうやって微笑む奏。

俺たちは住宅街を二人で歩いている。

どこの家も楽しそうな雰囲気で、クリスマスらしい装飾をしている家もあった。

「懐かしいな。あの頃はあんなに暑かったのに、今はこんなに寒い。」

「懐かしいね。私も良く覚えてるよ。もうあれからずいぶん経つね。」

奏が転校してきて、一緒に過ごした日々。あれから3年半ほど経つた。

今でも奏が見つかってしまったら、安形さんに追いかけられるかな。

それでも奏がどうしてももう一度この街に戻りたいと言い出した。

「結局、あいつに会えなかったな。」

「元気にしてるかな。」

「元気にしてるさ。あいつのことだからな。」

「…そうだね。元気にしてるよね。どんな風になったんだろうね。もう今じゃ立派な大人だし。」

「大人…か。ここを出たときは、まだ高校生だったんだな。まるで昨日のことみたいに感じるな。」

「…元気にしてるよね。」

「まだ気にしてるのか。」

「だって私のせいだ…」

奏は今でも気にしてる。

俺に自分を連れ出してくれと頼んだから、俺とあいつの仲を壊したと。

もちろん、あいつのことを気にしていないといえば嘘になる。

街を出たあの日も、あいつのことを気にしていた。

でも、俺にとってはあいつよりも奏のほうが大事だった。

「これで良かったんだ。俺は奏と一緒にいたかった。あいつを巻き込みたくなかったしな。後悔はしてない。」

「うん…。」

「いつか会えるさ。そのときに謝ればいい。」

「そうだね。そのときはまた三人で遊びたいね。」

俯いていた奏は、顔を上げて笑った。

少し不自然な笑顔が、未だに気にしていることを教えてくれた。

「俺は奏さえいてくれればそれでいいんだ。だから…」

俺は奏をギュッと抱きしめる。

「愛してる。」

「…きつと怒ってるよ。」

そういつて奏は笑う。自然な笑顔を見せてくれる。

「そうだな。奏があいつかを選ぶなら俺は奏を選ぶ。だけど奏かあいつかを選ぶ必要が無いのなら、ずっと三人一緒にいたいな。」

「うん。きつといつか三人一緒にいれる日がくるよ。」

「ああ。」

奏と手を繋いで駅へ向かう。

またしばらくはここに来ないだろう。

あの頃とあまり変わらない街並みを心に刻みながら、またこの街を去っていく。

駅前のイルミネーション、カップルであろう男女が何組もいる。

雪が降り始め、クリスマス装飾の光が雪にあたり、とても綺麗な景色だ。

「ねえ、武彦くん。」

「ん、どうした。」

わっ…。

「好きだよ。」

(後書き)

どうも、空牙です。

メインテーマは『世界』です。この作品は対となるもう一つの作品があつての作品です。

サブテーマは『あまあま』です。ですが表現力不足ですね。

人は自分の人生を生きる。自分中心の世界しか知らない。

けれども、他人視線で客観的に世界をみれば、こんな風に幸せな人がいれば、不幸な人もいる。

お金持ちの人がいれば、貧乏な人もいる。

いろんなものが絡み合つて存在して、まったく関わりの無いものも存在する。

自分視点では見えない何かが、身近なところにだつてある。

同じ世界でも、視点が違うだけで、切ない物語にも、幸せな物語にもなるんです。

ああ、世界は広い。

つていうのは後付けテーマです。すいません。

現在ジャンル開拓をしまして、いやジャンル開拓は違うか。

自分の作品が鬱展開が多いので、違う感じの作品を書きたいと思ひましてね。

そこで『あまあま』をテーマに作り始めたのですが、見事に武彦補正が入りました。

この時点ですでにもう片方の作品はある程度できていたんですよ。

お楽しみいただけたでしょうか。

そのうちもう片方の作品をアップする予定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5600n/>

Summer企画 『Winter -ある大学生の冬-』

2010年10月9日15時55分発行